

令和7年
2025年

12月15日
月曜日

第11854号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料（前納）
年間 82,080円
（税込み）
6か月 42,120円
（税込み）

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



CONTENTS

- ▶ 大手豚肉サプライヤーインタビュー 丸大食品 小林英治営業部長…………… P2
- ▶ 日冷倉年末記者会見、「物流効率化法の改正については今後も注視が必要」一大櫛会長…………… P3
- ▶ 25/26年度の穀物生産量は消費量を下回る見込み—USDA報告…………… P3
- ▶ BMS平均が11超え、大阪市場山口牛枝共開催…………… P4
- ▶ 神戸市灘区に「オーケー新在家店」がオープン、関西6店舗目の出店、今年は神戸・西宮エリアにドミナント展開。来年は大阪市内に本格進出へ…………… P4~5
- ▶ 大戸屋、洋食×ごはん文化で魅せる「冬のごちそう」販売開始…………… P5
- ▶ ココイチ「CURRY HOUSE CoCo壱番屋 FAN BOOK やっぱりココイチ!」発売決定…………… P5
- ▶ 豪州、25年7~9月期の穀物肥育牛肉輸出量、過去最高を記録…………… P6
- ▶ 【東京食肉卸売市場】牛は堅調、豚はしっかり…………… P6~7
- ▶ 【大阪市食肉卸売市場】牛堅調な相場維持、豚スペイン影響年明け…………… P7
- ▶ [資料] 年末年始業務（と畜業務）…………… P8
- ▶ [資料] 年末年始業務（市場業務）…………… P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数] 12日…………… P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場] 12日…………… P11

注目のヘッドライン

大手豚肉サプライヤーインタビュー
丸大食品 小林英治営業部長

…詳細はP2

日冷倉年末記者会見、「物流効率化法の改正については今後も注視が必要」一大櫛会長

…詳細はP3



多岐にわたる情報を網羅 食肉通信社

銘柄牛肉 ガイドブック



25 380 ブランド以上 B5判/258頁 定価2,500円

新刊

大手豚肉サプライヤーインタビュー 丸大食品 小林英治営業部長

—前年の豚肉販売実績をおきかせください。

国産豚は数量が前年並み、金額5%増となりました。輸入チルドポークは数量が10%減、金額5%減。フローズンポークは数量5%増、金額が10%増。豚肉全体で数量が5%減、金額5%増となっています。

国産豚肉は猛暑による夏場の増体不良、受胎率の低下によって生産量の減少が続いています。輸入牛肉の相場が高騰しており、その需要が国産にシフトした影響などで高値相場となりました。

輸入豚肉については、世界的な相場高騰と為替の円安状態が継続していることから、仕入コストが上昇しています。北米産については、米国内で牛肉の相場高騰による豚肉への需要シフトがみられ、高値相場で堅調に推移しています。

欧州産(EU)はデンマークやオランダなどでアニマルウェルフェア、SDGsなどへの対応が強く求められるといった課題が背景にあり、供給量が減少。ドイツでは家畜疾病が発生しました。これらに伴う価格高騰で南米産に一部の需要がシフトしました。

国産豚、輸入豚共に相場高となり、さらに価格差が縮まったことで、これまで価格訴求による需要が強かった輸入チルドポークから国産にシフト、あるいは少しでも価格の安いフローズンポークにシフトするという事例もみられ、販売では国産と輸入フローズンが好調、輸入チルドが低調となりました。

—今年度の計画をおきかせください。

国産豚は数量、金額共に微増、輸入チルドポークは数量、金額共に5%増、フローズンポークも数量、金額共に5%増、豚肉全体で数量、金額共に5%増を計画しています。

—今期の販売環境の見通しについておきかせください。

夏場は昨年よりも高騰した国産豚枝肉相場ですが、現在(10月中旬時点)では昨年を下回る相場に推移しています。年末の状況はいまだ不透明感がありますが、下期を通してみれば前年よりも販売しやすい環境で、ブランド豚肉の販売も堅調に推移しています。

輸入豚は為替の円安傾向が継続、世界的な需要も増加しており、仕入コストは今後も下がらないと予

測をしています。国産豚の相場が落ち着く一方でチルドポークが下がらないというのは、価格差が縮まることになります。しかし、引き続き牛肉からの需要シフトもあり、豚肉全体としての引き合いの強さは続くでしょう。

そうした中、価格・量で対応できるよう、需給バランスをみながら、国産豚肉、輸入豚肉をそれぞれ提案していきます。

販路は量販店、外食店共に注力します。営業戦略として原料の調達、加工、販売に至るまでグループ力を結集し、営業活動を進めていきます。

—貴社で展開しているブランド豚の特長をおきかせください。

国産豚ブランド「こめむぎ」は飼料に米と麦を配合して給餌しており、オレイン酸・ビタミンB1を多く含む三元豚です。北関東の契約農家で生産されています。

「オメガ爽健豚」は必須脂肪酸の一つであるオメガ3系の脂肪酸(αリノレン酸)を多く含んだ亜麻仁を添加した飼料を与えており、健康に必要な良質な脂をバランス良く含んだ豚肉です。脂の融点が低く、滑らかな口当たりが特長です。

輸入チルドポークブランドのカナダ産「麦麦BOO」はオリメル社の指定工場生産した豚肉で、飼料配合や肥育プログラムが一貫されています。麦の比率が50%以上の飼料を与え、白上がりの脂、キメ細かい肉質が特長です。

昨年から本格販売している米国産「大地の絆」は、生産者団体が立ち上げたホールストーン社の生産した豚肉です。100%自社農場から仕入れて供給しているため、安定した豚肉の供給が可能です。

一貫生産によるトレーサビリティが確立されているのも特長です。米国ではとうもろこしの飼料が主体ですが、その中では珍しく、仕上げ期に麦を給餌しており、締まった肉質となっています。



日冷倉年末記者会見、「物流効率化法の改正については今後も注視が必要」一大櫛会長

日本冷蔵倉庫協会は11日、令和7年「年末記者会見」を東京都内で開催した。

冒頭、大櫛頭也会長(写真)は「高市早苗総理による経済政策、経済対策については、18兆3千億円規模の補正予算案が閣議決定され、ガス代支援や子育て応援手当が盛り込まれたほか、半導体や造船などへの投資や米国関税措置への対応策を含めた防衛力と外交力の強化が盛り込まれている。こうした対策が効果を発揮し、物価上昇を上回る賃金上昇が後押しできれば、経済の好循環へとつながっていくだろう。物流業界においては、2024年問題、トラックドライバー不足から物流効率化法も改正された。法律は施行されているが、現場の状況もさまざま、今後どのようなようになるか注視が必要だ。人手不足問題に

については、運送業界だけでなく、全産業で大きな問題であり、倉庫業界も同様だ。現在、外国人材に関する特定技能、育成就労制度への物流倉庫分野の追加に向けて



進めているところだ」と説明した上で、「速やかな解決策が図りにくい課題がまだ多い冷蔵倉庫事業ではあるが、食料のサプライヤーにとってなくてはならない重要な社会インフラでもある。皆さまのお力添えを賜り、さらに前進していきたい」とあいさつした。その後、主要活動について報告が行われた。

25 / 26年度の穀物生産量は消費量を下回る見込み—USDA報告

農水省がまとめた米国農務省穀物需給報告(現地時間9日)によると、2025/26年度の世界の穀物全体の需給は、生産量が29億5403万t(前年度比3・5%増)、消費量が29億5298万t(2・6%増)、期末在庫量が7億7347万t(0・1%増)を見込んでいる。

品目別にみると、小麦の生産量は8億3781万t(4・6%増)、消費量は8億2297万t(1・5%増)、期末在庫量は2億7487万t(5・7%増)を見込んでいる。価格は10月に入り、世界的に小麦の供給が潤沢なことを受けて4ドル/bu台後半まで値を下げたものの、米中首脳会談による貿易協議進展への期待などを受けて値を上げ、10月末現在、5ドル/t台半ばで推移。11月に入り、中国の米国産小麦の調達に限定的との見方や米国農務省需給報告で米国産小麦の期末在庫量が市場予想を上回ったことを受けて値を下げ、11月末現在、5ドル/bu台前半で推移。

とうもろこしの生産量は12億8296万t(4・3%増)、消費量は12億9718万t(3・6%増)、期末在庫量は2億7915万t(4・8%減)を見込んでいる。

価格は10月に入り、米国の堅調な国内需要が米中首脳会談による貿易協議進展への期待などを受けて値を上げ、10月末現在、4ドル/bu台半ば近くで推移。11月に入り、中国の米国産とうもろこしの調達に限定的であったことや米国農務省需給報告で2025/26年度の米国産とうもろこしの単収が市場予測を上回ったことを受けて4ドル/bu台前半まで値を下げたものの、米国産の堅調な輸出需要を受けて値を上げ、11月末現在、4ドル/bu台半ばで推移。

大豆の生産量は、4億2254万t(1・1%減)、消費量は4億2185万t(2・1%増)、期末在庫量は1億2237万t(0・7%減)を見込んでいる。価格は10月に入り、米中首脳会談による貿易協議進展への期待などを受け値を上げ、10月末現在、10ドル/bu台後半で推移。11月に入り、米中関税の引き下げ報道、中国への米国産大豆輸出再開の期待などを受けて11ドル/bu台半ばまで値を上げたものの、中国向け大豆輸出低迷の懸念などを受けて11ドル/bu台前半まで値を下げた。その後、中国の米国産大豆輸出制約などを受けて値を上げ、11月末現在、11ドル/bu台半ばで推移。

BMS平均が11 超え、大阪市場山口牛枝共開催

山口県農業協同組合が主催する第5回JA山口県牛枝肉共励会が10日、大阪市中央卸売市場南港市場で開催された。黒毛和牛36頭が出品され、厳正な審査の結果、最優秀賞は(有)岩国ファーム平生が生産した黒毛和牛が獲得。殖生ミートパッカー(株)がこの日の最高値となるキロ当たり4010円で買い受けた。

同共励会は、山口県産のブランド和牛「やまぐち和牛 燦」の市場価値およびブランド価値向上を目的に実施しているもので、今回が5回目の開催となる。今年も域内から集荷された黒毛和牛36頭のうち、35頭がA5等級に格付され、BMSの平均値が11を超えるなど、いずれ劣らぬ上質な枝肉がそろった。

その中で、最優秀賞に輝いた去勢牛の枝肉は、父「福之姫」の血統で枝肉重量575・6kg。ロース面積109cm²、バラ厚9・4cmで、A5等級、BMS No.12に格付された。

最優秀賞以外の入賞牛生産者は次の通り。

優秀賞 三宅牧場、(2901円、購買者＝加納フーズ)、森田真二、2 (2900円、エスフーズ)



神戸市灘区に「オーケー新在家店」がオープン、関西6店舗目の出店 今年は神戸・西宮エリアにドミナント展開。来年は大阪市内に本格進出へ

ディスカウントスーパーマーケット「オーケー」を展開するオーケー(株) (二宮涼太郎社長＝右頁写真) は11日、兵庫県尼崎市に「オーケー新在家店」をオープンした。阪神電鉄本線「新在家駅」から徒歩5分の場所に位置する複合商業施設サザンモール六甲PLUS1階に位置し、売り場面積は531・8坪。関西では3日にオープンした垂水小東山店に続く6店舗目の開店となる。

精肉コーナーは、関西エリアに出店する他店舗同様に、牛肉はA5等級の和牛中心で構成。また、豚肉は地場産の「三田ポーク」を取り扱うなど地産地消を意識した品ぞろえを行っている。鶏肉は国産鶏肉のほか、地鶏「阿波尾鶏」なども販売する。

オープン初日はこれまで同様に開店前から大勢の客が詰めかけ、大盛況に。店舗入り口すぐの青果コーナーから、鮮魚、畜産と続く通路は、すれ違うことが困難なほどのにぎわいをみせていた。

同社は、今年下半期には神戸・西宮エリアにドミナント展開を行ってきたが、二宮社長は「客足はおおむね想定通り。関東・関西でお客さまの違いなどはあまり感じていない。新在家店は商業施設内への出店と



なるため、駐車場も広く、より広域から来店いただけると考えている」と話す。また、年末の商品展開については「当社の強みでもある和牛を、しっかり提案し

ていきたい」と意気込みを語った。実際、和牛A5等級の切り落としが100グラム当たり299円と競争力ある価格で販売。他にも5等級のブロックや300g以上にカットした厚切りの和牛サーロインなどが安価で陳列され、顧客が手に取る様子が多くみられた。

年内の関西地区での出店はこれが最後になるが、来年度は大阪府に7店舗の出店を予定しており「再

来年度になるが京都エリアへの進出も検討している」(二宮社長)と話すように、引き続き関西圏での足場固めを進めていく。



大戸屋、洋食×ごはん文化で魅せる「冬のごちそう」販売開始

(株)大戸屋(横浜市、蔵人賢樹社長)は、12日から、全国の「大戸屋ごはん処」で、寒い季節にぴったりな冬限定洋食フェア「冬のごちそう」を販売開始した。

季節の素材を丁寧に仕上げ、心まで温まる同店の洋食フェア。鶏のうまみを引き出したスープで具材を丁寧に煮込んだ「チキンと6種の野菜の和ポトフ〜麦味噌ソース添え〜」(税込み単品=1290円、定食=1380円)をはじめ、チーズのkokを隠し味にした濃厚な粒マスタードソースがやみつきになる「炭火焼き

チキンのマスタードクリームソース」(税込み単品=1230円、定食=1320円)など、同店流のごはんに合う洋食を用意。ひと口ごとに心温まる冬にピッタリのごちそうを堪能できるフェアになっている。



ココイチ「CURRY HOUSE CoCo 壺番屋 FAN BOOK やっぱりココイチ！」発売決定

(株)壺番屋(愛知県一宮市、葛原守社長)は、(株)宝島社から、公式ファンブック「CURRY HOUSE CoCo 壺番屋 FAN BOOK やっぱりココイチ！」(税込み1100円)を2026年1月17日に発売する。

限定付録として、期間中何度でも店内飲食の会計から10%オフとなる「SPECIALパスポート」が付いた、ココイチファン必見の一冊。23年1月に第1弾「CURRY HOUSE CoCo 壺番屋 FAN BOOK」を発売し、好評を博したことから、第2弾の発売が決定した。

第2弾は、最新のグランドメニューや現役社員による最強の“推しカレー&トッピング”総選挙、海外のココイチなどを紹介。さらに豪華著名人による「ココイチ愛」インタビューなど読み応えたっぷりの内容となっている。概要は以下の通り。

タイトル=「CURRY HOUSE CoCo 壺番屋 FAN BOOK やっぱりココイチ！」▷発売元=(株)宝島社、

Curry House CoCo 壺番屋
 公式 FAN BOOK
 店内飲食のお会計総額(税込)から
 10%OFF 期間中何度でも使える！
 SPECIALパスポート付き！
 1.17(土)発売！
 カレーハウスCoCo壺番屋、パスタ・デ・ココの店頭でも購入できます！
 ※取り扱っていない店舗もございます。

▷発売日=2026年1月17日▷価格=1千円(税込み1100円)▷仕様=A4版/オールカラー/64ページ▷販売店=全国のカレーハウスCoCo壺番屋、パスタ・デ・ココ(一部店舗を除く)、全国の書店、ネット書店など▷特別付録=店内飲食限定10%OFFスペシャルパスポート(利用可能期間=2026年1月17日~27年1月31日、※詳細は同誌利用方法を確認)

豪州、25年7～9月期の穀物肥育牛肉輸出量、過去最高を記録

豪州フィードロット協会(ALFA)と豪州食肉家畜生産者事業団(MLA)はこのほど、四半期ごとに共同で実施している全国フィードロット飼養動向調査の結果(25年7～9月期)を公表した。

それによると、同年9月末の飼養頭数は、151万8289頭(前年同期比6・6%増、前回は3・9%減)となった(表)。また、収容可能頭数は174万9170頭(6・4%増、2・5%増)と前回は引き続き170万頭を上回った。収容可能頭数が増加する中で、堅調な牛肉需要からフィードロットの稼働率は86・8%と高水準を維持している。

25年第3四半期(7～9月)の穀物肥育牛と畜頭数は、堅調な輸出需要を背景に96万2436頭(11.9%増、7.6%増)となった。

MLAによると、今期の穀物肥育牛肉輸出先は17年以來最も多い53カ国となり、世界的な牛肉需要が主要輸出市場全てで著しい増加をけん引したとされている。

このうち、25年第3四半期の同輸出量は12万1157t(20・0%増、7・3%増)と過去最高を記録し、牧草肥育牛肉を含め

た牛肉輸出量全体の29%を占めた。輸出先別にみると、中国向けは4万625t(1・6倍増)と穀物肥育牛肉輸出量全体の33・5%を占め、当該四半期で最大の輸出先となった。

今回の結果を受けてALFAは、「収容可能頭数の継続的な拡大は、このセクターへの強い信頼を反映している」とし、「投入コストの上昇や市場価格の変動などの課題がある中で、生産者はインフラや技術に投資し、高品質の牛肉を供給できる体制を確保していることから、長期的に持続可能な豪州牛肉のサプライチェーンを支えている」とコメントした。またMLAは、この輸出実績は豪州産穀物肥育牛肉に対する世界的な需要の高さを裏付けるものだとし、「中国が主要なけん引役であり続ける一方で、日本、韓国、新興市場での成長が同様に重要であり、この多様化は産業の長期的な回復力にとって極めて重要」とコメントした。(農畜産業振興機構)

州別フィードロット飼養頭数

(単位:頭)

	①前年調査	②前回調査	③今回調査		
	2024年 9月末	25年 6月末	25年 9月末	前年同期比 (③/①)	前回は (③/②)
クイーンズランド州	829,198	893,280	884,877	6.7%	▲0.9%
ニューサウスウェールズ州	397,342	471,767	468,419	17.9%	▲0.7%
西オーストラリア州	62,393	70,886	45,375	▲27.3%	▲36.0%
南オーストラリア州	75,697	71,072	55,790	▲26.3%	▲21.5%
ビクトリア州	59,762	72,170	63,828	6.8%	▲11.6%
合計	1,424,392	1,579,175	1,518,289	6.6%	▲3.9%

資料:ALFA/MLA

【東京食肉卸売市場】牛は堅調、豚はしっかり

[牛] 前週は年末需要で着実に引き合いが強まり、和牛、交雑牛共に強含み。和牛は上物中心に引き合いが強く、去勢4等級は2600円台で推移した。交雑牛は高値に張り付いている。

気温が一段と下がり、鍋物需要を刺激したことから、スライス物中心に動いている。和牛は高級部位に

引き合いが集中、ヒレ、カタロースは値を上げている。モモの引き合いが強く、ローストビーフ用などに需要が高いウチモモは品薄となっている。交雑牛もモモは品薄、カタロースも動いてきている。

年末向けの手当てが進み、在庫調整が難しくなってきた卸も出てきたようで、今週前半には、ほぼ一巡

すると思われるが、高値相場で必要量を確保できていない卸もあり、堅調な相場が予想される。去勢A5は2800～2900円、A4は2600～2700円、A3は2500～2600円、交雑牛去勢B4は1800～1900円、B3は1700～1800円か。

[豚] 引き続き出荷頭数は堅調に推移しており、全国と畜頭数は7万頭を上回る日が続いている一方、末端の荷動きもスライス系アイテムを中心に堅調に推移。忘年会などの宴会シーズンもピークを迎えており、年末に向けた荷動きはさらに強まっている。

前週も枝肉相場はじわじわと上昇傾向となっており、上物価格が600円を上回る展開となっている。

また、スペイン産豚肉の輸入停止による影響から、輸入フローズンポークの価格が高騰している。一部アイテムには逼迫感^{ひっばく}もみられ、主に冷凍ではあるが、国産で手当てせざるを得ない状況も増えている。年末の鍋物用の特売に提案されることも多いだけに、国産での品ぞろえが中心となるケースも増えてきそうだ。

引き続きしっかりした相場展開か。

【大阪市食肉卸売市場】牛堅調な相場維持、豚スペイン影響年明け

[牛] 前週は共励会が毎日開催されていたこともあって、かなりの高値相場を形成した。高品質牛が多く出品されても、それが続く^{つづ}くと徐々に相場にダレがみられるものだが、前週は堅調な相場を維持し、週末まで高値相場が保たれた。

共励会が終わると相場も弱まってくるが、現状の勢いを考えれば、この先も一定の引き合いを保ちそうだ。和牛、交雑牛共に今週も高値相場を維持すると

みる。

[豚] 前週は日によって「上」の上場頭数にバラツキがあったものの、各日しっかりした価格を維持した。スペイン産豚肉の輸入停止で全国的な相場急伸も予想されたが、現状は価格も落ち着いており、影響がみられるのは年明け以降となりそうだ。

とはいえ今週も500円台後半の高値を保つと予想する。

[訂正] 本紙12月4日付4面、10月分の「豚肉輸出」の表の元になる貿易統計の数値について、財務省が修正を行いました。

貿易統計では、中国向けの数量が8537kgとなっていました^なりましたが、これはマカオ向けの数量です。修正した表を再掲載いたします。

豚肉輸出の表

単位：キロ

	香港		ベトナム	シンガポール	マカオ	タイ	その他国	合計
	冷蔵	冷凍	冷凍	冷凍	冷凍	冷凍		
2025年3月	1,169	103,660		30,596	6,923	612		142,960
4月	2,929	64,821		21,987	2,024	5,063		96,824
5月	1,032	94,012	372	19,528	4,303	1,137		120,384
6月	4,767	88,199	1,536	31,897	1,536			126,618
7月	926	65,763	922	23,075	1,306	6,483	1,559	100,034
8月	2,662	98,277	193	38,779	4,858	1,919		146,688
9月	2,352	95,398		64,412	1,651	3,848		167,661
10月	799	105,071	225	8,321	11,311			125,727
前年同月比	86.9%	109.7%	167.9%	34.3%	1688.2%	-	-	103.2%
2025年計	19,717	879,363	3,248	284,588	37,176	24,419	1,559	1,248,753
前年同期比	143.3%	133.7%	1123.9%	95.2%	107.8%	117.0%	55.9%	121.7%

[資料]

年 末 ・ 年 始 業 務 (と畜業務)

公益社団法人日本食肉市場卸売協会

市 場	令和7年12月										令和8年1月						備 考
	22 (月)	23 (火)	24 (水)	25 (木)	26 (金)	27 (土)	28 (日)	29 (月)	30 (火)	31 (水)	1 (木)	2 (金)	3 (土)	4 (日)	5 (月)	6 (火)	
仙 台	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	○	
茨 城	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	○	
栃 木	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	○	
群 馬	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	○	
さいたま	○	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
川 口	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
東 京	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
横 浜	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	
山 梨	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
浜 松	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
岐 阜	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
飛 騨	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	
名古屋	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
東三河	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
四日市	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
京 都	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
大 阪	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	12/24豚のみ
神 戸	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
姫 路	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
加古川	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	変更の可能性あり
西 宮	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
岡 山	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	12/26豚のみ
坂 出	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
高 松	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
広 島	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	○	
福 岡	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	○	
佐世保	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	○	

[資料]

年末・年始業務 (市場業務)

公益社団法人日本食肉市場卸売協会

市場	令和7年12月										令和8年1月						備考
	22 (月)	23 (火)	24 (水)	25 (木)	26 (金)	27 (土)	28 (日)	29 (月)	30 (火)	31 (水)	1 (木)	2 (金)	3 (土)	4 (日)	5 (月)	6 (火)	
仙台	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	△	○	○	
茨城	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
栃木	○	○	○	○	○	△	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
群馬	○	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
さいたま	○	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
川口	○	○	△	△	△	休	休	休	休	休	休	休	休	休	△	△	
東京	○	○	○	○	○	○	△	休	休	休	休	休	休	休	△	○	
横浜	○	○	○	○	○	△	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	
山梨	△	○	○	○	○	△	休	休	休	休	休	休	休	休	△	○	
浜松	△	△	△	△	△	△	休	休	休	休	休	休	休	休	休	△	
岐阜	○	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	△	○	
飛騨	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	
名古屋	○	○	○	○	○	△	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	
東三河	○	○	○	○	○	休	休	△	休	休	休	休	休	休	休	○	
四日市	△	△	△	○	△	△	休	休	休	休	休	休	休	休	△	△	12/25豚のみセリ
京都	○	○	休	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	△	○	
大阪	○	○	○	○	△	休	休	休	休	休	休	休	休	休	△	○	12/25豚のみセリ
神戸	○	○	○	△	△	△	休	休	休	休	休	休	休	休	△	○	
姫路	△	△	△	△	△	休	休	休	休	休	休	休	休	休	△	△	
加古川	△	○	△	△	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	△	○	変更の可能性あり
西宮	△	△	休	△	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	△	△	
岡山	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	△	○	
坂出	△	○	△	△	△	休	休	△	△	休	休	休	休	△	△	△	
高松	△	△	△	△	△	△	休	休	休	休	休	休	休	休	△	△	
広島	○	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
福岡	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
佐世保	○	○	○	○	○	休	休	休	休	休	休	休	休	休	○	○	
市場協会	△	△	△	△	△	休	休	休	休	休	休	休	休	休	△	△	事務局業務

※市場業務：セリあり…「○」、セリはないがその他の市場業務あり…「△」

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 12月12日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1		
和牛	雌 A	高値	3,670	2,730	2,577	-	-	
		安値	2,571	2,528	2,463	-	-	
		平均	2,797	2,614	2,537	-	-	
	115頭	頭数	85	25	5	-	-	
		雌 B	高値	-	-	-	-	-
			安値	-	-	-	-	-
	平均		-	-	-	-	-	
	-頭	頭数	-	-	-	-	-	
		去 A	高値	3,217	2,701	2,586	-	-
			安値	2,576	2,487	2,486	-	-
	平均		2,757	2,602	2,548	-	-	
	217頭	頭数	168	43	6	-	-	
去 B		高値	-	-	-	-	-	
		安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-		
-頭	頭数	-	-	-	-	-		
	乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
		雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
去 B -頭		平均	-	-	-	-		
去 C -頭	平均	-	-	-	-	-		
交雑牛	雌 B	平均	-	1,914	1,647	1,611	-	
		5頭	頭数	-	1	3	1	-
	雌 C	平均	-	-	-	-	-	
		-頭	頭数	-	-	-	-	-
	去 B	平均	-	1,734	1,754	1,642	-	
		11頭	頭数	-	3	5	3	-
去 C	平均	-	-	1,644	1,447	-		
	4頭	頭数	-	-	3	1	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜	430	1,023	-	(競り)	(相対)	
売買	429	1,028	389.5	-	52	65

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,594	2,123	1,736	1,554	-
	B	1,809	-	1,627	1,455	-
和 去	A	2,710	2,547	2,543	1,867	-
	B	-	-	-	2,123	-
乳 雌	B	-	-	-	1,157	1,097
	C	-	-	-	1,087	1,001
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	1,731	1,679	1,571	966
	C	-	1,635	1,627	1,544	955
交 去	B	1,932	1,871	1,681	1,554	-
	C	-	-	1,558	1,492	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	646	779	714	674	573
	安値	633	605	551	518	413
	平均	639	638	614	573	492
	頭数	(2)	(322)	(371)	(230)	(103)
搬入競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
搬入相対	高値	-	670	648	497	535
	安値	-	670	497	421	389
	平均	-	670	604	468	499
	頭数	(-)	(4)	(3)	(23)	(22)

[大阪食肉卸売市場] 12月12日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,835	2,543	-	-	-
(頭数)	(25)	(10)	(-)	(-)	(-)
B	-	2,700	2,237	-	-
(頭数)	(-)	(1)	(1)	(1)	(-)
和 去 A	3,142	2,523	-	-	-
(頭数)	(50)	(3)	(-)	(-)	(-)
B	-	2,425	-	-	-
(頭数)	(-)	(2)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	2,105	1,976	1,798	-	-
C	-	-	-	-	-
交雑去 B	-	1,892	1,757	1,683	-
C	-	-	1,745	1,632	-
豚	-	-	-	-	-

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	12月12日	12月11日	(12月累計)
豚	70,800	71,100	698,500
成牛計	5,450	5,330	54,620
和牛雌	1,330	1,460	14,090
和牛去勢	1,290	1,610	16,510
乳牛雌	910	880	7,110
乳牛去勢	290	410	4,260
交雑雌	760	400	5,620
交雑去	850	570	6,990

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 12月12日

	1,672円	(前日 1,680円)
東京		
	1,716円	(前日 1,758円)
大阪		

[豚・全農建値] 12月12日

上	中	取引頭数	市況
627円	611円	1,244頭	急伸

と畜	牛 117頭	豚 230頭	牛概況	もちあい
売買	牛 145頭	豚 64頭	豚概況	まちまち

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 12月12日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	594 (594)	- (-)	6,390	-	もちあい
仙台 [中]	584 (584)	444 (544)	512	150	もちあい
栃木 [地]	633 (626)	592 (581)	1,842	102	小幅続伸
茨城 [地]	611 (609)	579 (581)	1,379	695	もちあい
群馬 [地]	647 (632)	548 (529)	2,272	302	続伸
さいたま [中]	633 (598)	629 (591)	323	319	続伸
東京 [中]	638 (607)	614 (581)	1,023	1,028	急伸
横浜 [中]	612 (597)	590 (576)	681	677	続伸
山梨 [地]	- (597)	- (576)	127	12	休市
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	627 (621)	602 (618)	943	243	強もちあい
京都 [中]	604 (616)	598 (588)	40	135	もちあい
大阪 [中]	- (598)	- (521)	230	-	上場なし
神戸 [中]	576 (624)	571 (626)	-	57	下押し
岡山 [地]	619 (613)	609 (604)	311	323	堅調
広島 [中]	- (-)	- (-)	414	56	-
福岡 [中]	595 (597)	559 (571)	581	205	続落

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 12月5日～12月11日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,882,358 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,120	1,188	1,285	1,197	80,070
うで	680	756	810	757	150,733
ロース	1,074	1,170	1,219	1,167	184,537
ばら	1,213	1,311	1,396	1,307	196,418
もも	724	769	796	770	219,814
ヒレ	990	1,134	1,188	1,130	12,542
セット	922	1,007	1,098	1,015	1,038,244

◇近畿圏 総重量 804,344 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,269	1,350	1,385	1,338	71,499
うで	703	738	810	753	126,681
ロース	1,080	1,212	1,264	1,190	104,484
ばら	1,264	1,371	1,444	1,365	142,093
もも	702	724	826	735	176,776
ヒレ	1,080	1,188	1,267	1,165	14,353
セット	881	978	1,105	983	168,458

[食鳥正肉日経相場] 12月11日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	682	778	957	186
ムネ	483	544	685	158

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	679	767	1,030	4
ムネ	478	524	613	3

[農水省統計情報部食鳥市況] 12月11日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,016	764	550	600	650
安値	700	445	290	360	350
平均	769	553	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。(HP)

<https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランクカット判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーションリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します